

器官制御医学講座 泌尿器科学

1. 領域構成教職員・在職期間

教授	寺田 直樹	令和4年4月～
講師	福島 正人	平成28年6月～(平成31年4月～現職)
講師	多賀 峰克	平成18年4月～平成21年3月、平成23年4月～平成25年1月、平成25年4月～(令和4年4月～現職)
助教	関 雅也	平成19年4月～平成22年3月、平成24年4月～(平成28年4月～現職)
助教	稲村 聡	平成19年4月～平成22年3月、平成24年4月～平成27年3月、平成28年5月～(平成29年4月～現職)
助教	堤内 真実	平成22年4月～平成25年3月、平成27年4月～(令和2年4月～現職)
助教	小林 久人	平成23年4月～平成26年3月、平成28年4月～(平成31年4月～現職)
助教	吹上 優介	令和6年4月～現職
特命助教	山崎裕紀子	令和6年8月～
医員	齋藤晶子	令和6年4月～

2. 研究概要

研究概要

当領域は以下の研究部門による研究を継続実施している。

- 1) 尿路性器悪性腫瘍部門
- 2) 腎臓部門
- 3) 下部尿路機能部門
- 4) 性機能部門
- 5) 排尿ケア部門

1) 尿路性器悪性腫瘍部門

1-1) すべての糖鎖は血管内皮細胞に発現するE-セレクトインとの接着能を有し転移に関与することが示唆されている。尿路上皮がんに関する研究では、糖鎖であるE-selectinが腎癌細胞に発現し、予後不良のマーカーになることを示した。また同様にsialyl Lewis x/aも治癒切除を施行された淡明腎細胞がん患者の予後予測因子になるとも報告した。また、JC06という全国の癌臨床研究グループに属し、転移性前立腺癌に対する局所放射線治療の有用性を検証する前向き試験に参加している。

2) 腎臓部門

2-1) 抗コリン薬は夜間多尿を改善することを報告してきた。抗コリン薬の他にもメラトニンや睡眠薬でも尿量を減少させる可能性を報告してきたが、そのメカニズムとして膀胱上皮を介する水吸収は否定的である。尿管に直接カニューレーションする方法で腎尿量を測定し、腎のアクアポリン2の免疫染色やcAMPの測定を行って、抗コリン薬が腎集合管のアクアポリン2を介するメカニズムを介して尿を吸収することを報告した。この結果はScientific Reportに投稿し受理された。

3) 下部尿路機能部門

3-1) 2型糖尿病モデルとしてOLETFラットを用いて、前立腺重量に対するphosphodiesterase 5 inhibitor (PDE5i)の影響について検討を行った。その結果、OLETFラットには前立腺血流障害が存在し、PDE5iはその血流障害を改善すること、またPDE5iは血流を改善し前立腺重量の減少をもたらすことが解明された。そのメカニズムとして血流改善に伴い前立腺組織内の炎症性サイトカインの減少やIGFなどの増殖因子の低下を介して前立腺重量の減少を惹起した可能性があることを解明した。その結果をLife Scienceに投稿し、受理された。

3-2) 前立腺肥大症において高内皮細静脈(HEV)様血管が炎症細胞浸潤に関与しているが、この血管数は下部尿路機能障害の臨床パラメーターとよく相関する。さらに、生活習慣が前立腺の慢性炎症に及ぼす影響についても研究を行っている。特に喫煙・禁煙期間が前立腺の慢性炎症の程度と関係することを解明した。その結果をInternational Journal of Urologyに投稿し受理された。PDE5iの効果と生活習慣病との関連を後ろ向きに解析し、現在は前向き臨床試験を計画中である。

3-3) 福井県下の高齢者施設との共同研究として、フレイルと下部尿路機能障害、特に過活動膀胱との関連が深いことを解明した。また高齢者の高血圧に投与される降圧薬や睡眠薬などは抗コリン作用があり、近年抗コリン負荷をして認知機能との関連が注目されている。施設入所高齢者の抗コリン負荷をそれぞれ算定し、下部尿路機能との関連を解析した。その結果、降圧薬を投与している高齢者では排尿効率が悪く、すなわち残尿が多いことが解明され報告した。

3-4) 夜間頻尿は睡眠障害、夜間多尿、膀胱蓄尿障害が原因であるが、どの因子がより強く関与するかはわかっていない。われわれは睡眠に関する質問票とIPSSなどを用いて年代別の夜間頻尿に影響する因子を解明した。60代、70代では睡眠がより強く影響した。さらに、体動を感知して夜間の覚醒時間を評価するwearable watchを用いて、適切な就寝時刻を設定するプログラムを開発し、設定した時刻に就寝することで、夜間頻尿が改善することを示し、各学会で報告した。

3-5) ボツリヌス毒素の膀胱壁内注入療法が、難治性過活動膀胱や神経因性膀胱患者の尿失禁に対して有効であり、安全であることを検証する臨床治療の統括医師として参加した。その有効性及び安全性についてInternational Journal of Urologyに投稿し受理された。2020年よりボツリヌス療法が全国で開始された。2024年より仙骨刺激装置挿入術を開始した。

5) 排尿ケア部門

5-1) 排尿自立指導料が保険収載され、慢性期病院を中心に尿路管理法の見直しが行なわれると期待されるが、福井大学附属病院の関連病院を中心に、泌尿器科が常勤ではない施設でも、不必要な尿道カテーテル抜去を系統的に行えるように、看護師主導で行えるクリティカルパスを作成し、カテーテル留置率を下げるか否かについて、prospectiveな研究を行った。その結果、バスに従い、残尿量をパラメーターとして効率よくカテーテルが抜去できることが解明された。

5-2) 長期尿道カテーテル留置患者における様々なトラブル対策を行っている。具体的には、カテーテル閉塞の危険因子解析、閉塞に対するクランペリージュースの予防効果、カテーテルの形状や材質による閉塞度合の差、などについて、関連病院の要介護度の高い患者を対象に調査を行っている。

キーワード

- 1) 泌尿生殖器の腫瘍、糖鎖、オートファジー、前立腺癌、薬物治療、放射線治療
- 2) 泌尿生殖器の疾患の治療、腎移植、分子メカニズム
- 3) 泌尿生殖器の疾患、下部尿路機能、メタボリック症候群、生活習慣病、過活動膀胱、夜間頻尿、ガイドライン
- 4) 泌尿生殖器の疾患、男性更年期障害、下部尿路機能障害
- 5) 排尿自立指導、長期留置、排尿ケア、感染、閉塞

業績年の進捗状況

特色等

- 1) 糖鎖マーカー、オートファジーに注目し、泌尿生殖器癌の研究を行っている。転移性前立腺癌に対する局所放射線治療の有用性を検証する前向き多機関共同試験を行っている。前立腺癌診療ガイドライン2023の執筆に携わった。
- 2) 夜間頻尿診療ガイドライン(第2版)、過活動膀胱診療ガイドライン(第3版)の作成委員として活動した。
- 3) 当部門の特色として性行動障害などの性機能障害、睡眠障害あるいは心理的ストレスとの関連からアプローチする手法で研究している。
- 4) 現在、寝たきり患者が増加している我が国においては、長期尿道カテーテル留置中の患者に起こるカテーテル閉塞は大きな問題となっている。常勤泌尿器科医がいない病院、施設において、その対処法、あるいは必要なカテーテルを抜去する適切な方法には、まだ確立されたものはなく、大学と民間病院とが協力しながら行う画期的な取り組みである。
- 5) フレイル高齢者の下部尿路機能障害を多面的に解析し、新たな治療に繋げる試みを行っている。
- 6) 睡眠障害は高齢者に多いが、夜間頻尿の発生に強く関わっている。睡眠の質を改善することが夜間頻尿の改善に寄与するという仮説をたて前向き研究を行っている。

本学の理念との関係

超高齢化社会を迎え、泌尿器科癌を含め、様々な泌尿器科疾患を有する患者も急増している。尿路性器悪性腫瘍に限らず下部尿路機能障害、性機能障害などQOL疾患に対しても世界的水準での研究・教育を推進し、地域・国・国際社会に貢献できる人材の育成と独創的な研究を行っている。特に産学官連携を推進し、広く社会に貢献していると自負している。

3. 研究実績

区分		編数		インパクトファクター（うち原著のみ）	
		2018～2023年分	2024年分	2018～2023年分	2024年分
和文原著論文		3	0		
英文論文	ファーストオーサー	6	3	18.585(18.585)	5.5(3.7)
	コリボ ンデ ィング オーサー	4	4	12.121(12.121)	9.4(7.6)
	その他	14	4	51.648(45.723)	12(12)
	合計	21	9	70.233(64.308)	23.3(21.5)

(A) 著書・論文等

(1) 英文：著書等

a. 著書

b. 著書（分担執筆）

c. 編集・編集・監修

(2) 英文：論文等

a. 原著論文（審査有）

24071

So Inamura, Yusuke Fukiage, Hisato Kobayashi, Manami Tsutsumiuchi, Masaya Seki, Minekatsu Taga, Masato Fukushima, Motohiro Kobayashi, Osamu Yokoyama and Naoki terada: Dutasteride, a 5 alpha reductase inhibitor, could be associated with the exacerbation of inflammation in patients with benign prostatic hyperplasia, International Journal of Urology, 32(2), 151-157, 202502, DOI: 10.1111/iju.15612, #1.8

24072

Yusuke Fukiage, Shulin Low, Akifumi Muramoto, Yuzuru Ariga, Hitomi Hoshino, Tsutomu Nakada, Tomoya O. Akama, and Motohiro Kobayashi: Expression of Glycoprotein 2 and Its Glycosylation in Human Cowper's Gland, Journal of Histochemistry & Cytochemistry, 73(45659), 55-61, 202501, DOI: 10.1369/00221554241309413, #1.9

24073

Tashiro Y, Akamatsu S, Ueno K, Kamoto T, Terada N, Hida T, Kurahashi R, Kamba T, Saito A, Lee T, Morita S, Kobayashi T: A retrospective study of prognostic factors and prostate-specific antigen dynamics in Japanese patients with metastatic hormone-sensitive prostate cancer who received combined androgen blockade therapy with bicalutamide, International Journal of Clinical Oncology, 29(10), 1564-1573, 202410, DOI: 10.1007/s10147-024-02597-x, #2.5

24074

Takafumi Kabuto, So Inamura, Hisato Kobayashi, Xinmin Zha, Keiko Nagase, Minekatsu Taga, Masaya Seki, Nobuki Tanaka, Yoshinaga Okumura, Osamu Uokoyama, naoki terada: PDE5 inhibitor potentially improves polyuria and bladder storage and voiding dysfunctions in type2 diabetic rats, PLOS ONE, 202409, DOI: 10.1371/journal.pone.0301883, #2.9

24075

Takafumi Kabuto, So Inamura, Hisato Kobayashi, Xinmin Zha, Keiko Nagase, Minekatsu Taga, Masaya Seki, Nobuki Tanaka, Yoshinaga Okumura, Osamu Uokoyama, naoki terada: PDE5 inhibitor potentially improves polyuria and bladder storage and voiding dysfunctions in type2 diabetic rats, PLOS ONE, 19(9), e0301883, 202409, DOI: 10.1371/journal.pone.0301883, #2.9

24076

Muramoto A, Hoshino H, Inamura S, Murahashi M, Akama TO, Terada N, Kobayashi M: Expression of Podocalyxin Potentially Decorated With Low-sulfated Keratan Sulfate in Human Testicular Embryonal Carcinoma, Journal of Histochemistry & Cytochemistry, 72(7), 453-465, 202407, DOI: 10.1369/00221554241265162, #1.9

24077

Sakamoto S, Sato K, Kimura T, Matsui Y, Shiraishi Y, Hashimoto K, Miyake H, Narita S, Miki J, Matsumoto R, Kato T, Saito T, Tomida R, Shiota M, Joraku A, Terada N, Suekane S, Kaneko T, Tatarano S, Yoshio Y, Yoshino T, Nishiyama N, Kawakami E, Ichikawa T, Kitamura H: PSA doubling time 4.65 months as an optimal cut-off of Japanese nonmetastatic castration-resistant prostate cancer., scientific reports, 14(1), 15307, 202407, DOI: 10.1038/s41598-024-65969-3, #3.8

24078

Sakamoto S, Sato K, Kimura T, Matsui Y, Shiraishi Y, Hashimoto K, Miyake H, Narita S, Miki J, Matsumoto R, Kato T, Saito T, Tomida R, Shiota M, Joraku A, Terada N, Suekane S, Kaneko T, Tatarano S, Yoshio Y, Yoshino T, Nishiyama N, Kawakami E, Ichikawa T, Kitamura H: PSA doubling time 4.65 months as an optimal cut-off of Japanese nonmetastatic castration-resistant prostate cancer., scientific reports, 14(1), 15307, 202407, DOI: 10.1038/s41598-024-65969-3, #3.8

b. 原著論文（審査無）

c. 原著論文（総説）

24079

So Inamura, Naoki Terada: Chronic inflammation in benign prostatic hyperplasia: Pathophysiology and treatment options, International Journal of Urology, 31(9), 968-974, 202409, DOI: 10.1111/iju.15518, #1.8

d. その他研究等実績（報告書を含む）

24080

Hashimoto K, Kosaka T, Terada N, Kimura T, Nonomura N, Suzuki H, Uemura H: Current issues and management consensus of advanced prostate cancer: Report of the Advanced Prostate Cancer Consensus Conference-JAPAN 2023, International Journal of Urology, 31(9), 975-985, 202409, DOI: 10.1111/iju.15499, #1.8

24081

Yoshinaga Okumura: Appropriate bedtime and regular sleep habits extends hours to the first urination after sleep onset and enhanced sleep quality, 日本泌尿器科学会総会, 111, 45784, 202404

24082

So Inamura: Metabolic syndrome might be the factor of the responder of tadalafil in patients with benign prostatic hyperplasia, 日本泌尿器科学会総会, 111, 45919, 202404

24083

Yusuke Fukiage: Impact of prostate biopsy on urinary function, 日本泌尿器科学会総会, 111, 11567, 202404

24084

Naoki Terada: Local therapy and metastasis directed therapy for patients with metastatic prostate cancer: present outcomes and future perspectives in Japan, 日本泌尿器科学会総会, 111, 45690, 202404

24085

Minekatsu Taga: The outcome of upfront ARAT for metastatic hormone-sensitive prostate cancer in Fukui, 日本泌尿器科学会総会, 111, 45749, 202404

24086

Manami Tsutsumiuchi: Our experience with botulinum toxin intravesical in jection therapy, 日本泌尿器科学会総会, 111, 12540, 202404

24087

Tadashi Kakitsuba: Psychological stress would be the factor exacerbating pelvic pain in patients with interstitial cystitis and bladder pain syndrome, 日本泌尿器科学会総会, 111, 22282, 202404

24088

Wonseok Seo: Efficacy of the first-line treatment with advanced renal cell carcinoma in TKI and ICI combined therapy, 日本泌尿器科学会総会, 111, 45914, 202404

e. 国際会議論文

(3) 和文：著書等

a. 著書

- b. 著書（分担執筆）
- c. 編纂・編集・監修
- (4) 和文：論文等
 - a. 原著論文（審査有）
 - b. 原著論文（審査無）
 - c. 総説
 - d. その他研究等実績（報告書を含む）
 - e. 国際会議論文
- (B) 学会発表等
 - (1) 国際学会
 - a. 招待・特別講演等
 - b. シンポジスト・パネリスト等
 - c. 一般講演（口演）
 - d. 一般講演（ポスター）
 - e. 一般講演
 - f. その他
 - (2) 国内学会（全国レベル）
 - a. 招待・特別講演等
 - b. シンポジスト・パネリスト等
 - 24089** 稲村 聡：過活動膀胱治療の今～薬物療法～，第74回日本泌尿器科学会中部総会，金沢市，20241123
 - c. 一般講演（口演）
 - 24090** 稲村 聡、垣鎔 忠、稲村 真紘、帰山 公佳、田邊 洋祐、西田 崇人、徐 元錫、奥村 悦久、吹上 優介、小林 久人、堤内 真実、関 雅也、多賀 峰克、福島 正人、寺田 直樹： β 3作動薬の有効性に対する生活習慣の関連の検討，第31回日本排尿機能学会，郡山市，20240907
 - d. 一般講演（ポスター）
 - 24091** 堤内 真実、関 雅也、稲村 聡、多賀 峰克、福島 正人、寺田 直樹：骨盤臓器脱手術により頻尿の改善効果について，第31回日本排尿機能学会，郡山市，20240906
 - 24092** 関 雅也、稲村 真紘、帰山 公佳、田邊 洋祐、西田 崇人、徐 元錫、垣鎔 忠、奥村 悦久、吹上 優介、小林 久人、堤内 真実、稲村 聡、多賀 峰克、福島 正人、寺田 直樹：ロボット支援前立腺全摘除術後各時期の全般的HRQOLに影響する前立腺癌特異的HRQOL因子の検討，第31回日本排尿機能学会，郡山市，20240906
 - 24093** 奥村 悦久、田邊 洋祐、西田 崇人、帰山 公佳、稲村 真紘、垣鎔 忠、徐 元錫、吹上 優介、小林 久人、堤内 真実、関 雅也、稲村 聡、多賀 峰克、福島 正人、寺田 直樹：夜間頻尿は就寝後第一覚醒時間までに時間あたり尿量と関連する。，第31回日本排尿機能学会，郡山市，20240906
 - 24094** 徐 元錫：当院における免疫チェックポイント登場前後での進行腎癌に対する一次薬物療法の検討，第62回日本癌治療学会学術集会，福岡市，20241024
 - 24095** 奥村 悦久、福島 正人、折坂 誠：男性不妊症外来を受診した患者の精子に影響を与える因子の検討，第69回日本生殖医学会学術講演会・総会，名古屋市，20241114
 - 24096** 福島 正人、折坂 誠：福井大学泌尿器科を受診した男性不妊関連疾患の検討，第69回日本生殖医学会学術講演会・総会，名古屋市，20241114
 - 24097** 関 雅也：RARP後各時期の全般的HRQOLに影響する前立腺癌特異的HRQOL因子の検討，第74回日本泌尿器科学会中部総会，金沢市，20241123
 - 24098** 吹上 優介：当院における結石性腎盂腎炎患者の検討，第74回日本泌尿器科学会中部総会，金沢市，20241123
 - e. 一般講演
 - f. その他
 - (3) 国内学会（地方レベル）
 - a. 招待・特別講演等
 - b. シンポジスト・パネリスト等
 - c. 一般講演（口演）
 - d. 一般講演（ポスター）
 - e. 一般講演
 - 24099** 堤内 真実：ロボット支援腹腔鏡下膀胱全摘術（RARC）後に陰脱を発症した3例，第21回泌尿器科再建再生研究会，仙台市，20240601
 - f. その他
 - 24100** 堤内 真実、吹上 優介、小林 久人、関 雅也、稲村 聡、多賀 峰克、福島 正人、大沼 利通、吉田 好雄、寺田 直樹：ロボット支援腹腔鏡下膀胱全摘術（RARC）後に陰脱を発症した3例，第478回日本泌尿器科学会北陸地方会，金沢市，20240720

業績一覧

24101 西田 崇人、稲村 聡、田邊 洋祐、稲村 真紘、綿山 公佳、垣鐸 忠、徐 元錫、奥村 悦久、吹上 優介、小林 久人、堤内 真実、関 雅也、多賀 峰克、福島 正人、寺田 直樹：難治性過活動膀胱に対する仙骨神経刺激療法(SNM)の1例，第478回日本泌尿器科学会北陸地方会，金沢市，20240720

(4) その他の研究会・集会

a. 招待・特別講演等

24102 寺田 直樹：新たな前立腺癌治療戦略，AstraZeneca Prostate Cancer Symposium，大阪市，20241213

24103 寺田 直樹：mCRPCへのPARP阻害薬治療の最新の話題，泌尿器腫瘍セミナー，宇都宮市，20250124

24104 寺田 直樹：前立腺全摘除術を含むロボット腹腔鏡手術全般のポイント，第5回山梨泌尿器科治療UPDATE，甲府市，20240509

24105 寺田 直樹：転移性前立腺癌治療の現状と今後の展望，SHINSHU Prostate Cancer Seminar，松本市，20241009

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

d. 一般講演（ポスター）

e. 一般講演

24106 寺田 直樹：新たな前立腺癌治療戦略，Prostate Cancer Seminar in 新潟，新潟市，20240521

24107 寺田 直樹：mCSPC治療の現状と今後の展望，Prostate Cancer Forum 2024，東京，20240921

24108 寺田 直樹：高リスク前立腺癌に対する放射線治療，Prostate Cancer Web Seminar，Web開催，20240826

24109 寺田 直樹：実臨床での治療選択やICのポイントについて，FMM 前立腺癌セミナー，津市，20250315

24110 寺田 直樹：mCRPC治療の現状と今後の展望，Frontiers in Scientific Urology meeting，京都市，20240607

24111 寺田 直樹：新たな前立腺癌治療戦略，北九州市泌尿器科医会 令和6年度第1回研修会，北九州市，20240613

24112 稲村 聡：前立腺癌に対する当院の治療方針～事例からダロルタミドの使い方を考える～，福井県泌尿器科医会4月例会，福井市，20240411

24113 寺田 直樹：前立腺癌ホルモン治療の進歩，PC Collaboration WEB Seminar，Web開催，20241030

24114 寺田 直樹：高リスク前立腺癌に対する放射線治療，泌尿器科診療アップデート～最新の知見と症例から学ぶ治療の実際～，名古屋市，20241221

24115 多賀 峰克：転移性腎癌に対するカボザンチニブ治療，Urological Cancer Seminar，Web開催，20250207

24116 寺田 直樹：進行性前立腺癌に対する集学的治療，第14回ちば新世界泌尿器科セミナー，千葉市，20250221

24117 寺田 直樹：前立腺癌診療における最新の話題，Urology Summit，Web開催，20250305

24118 多賀 峰克：当院でのMRI fusion前立腺生検の検討，FMM 前立腺癌セミナー，津市，20250315

f. その他

(C) 特許等

区分	内容（発明の名称）	発明者又は考案者
----	-----------	----------

(D) その他業績

4. グラント取得

(A) 科研費・研究助成金等

区分	プロジェクト名	研究課題名	代表者名	分担者名	研究期間	金額（配分額）
区分	研究種目	課題名	代表者名	分担者名	研究期間	金額（配分額）
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	心理的ストレスによる膀胱機能障害の発症機序の解明ー膀胱壁のCRFに注目してー	関 雅也	小林 久人、堤内 真実、寺田 直樹	20230401-20280331	¥780,000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	心理的ストレスによる膀胱機能障害の発症機序の解明ー膀胱壁のCRFに注目してー	関 雅也	小林 久人、堤内 真実、寺田 直樹	20230401-20280331	¥780,000

区分	機関名	課題名	研究者名	研究期間	契約金額
区分	機関名	課題名	研究者名	研究期間	契約金額

業績一覧

受託研究	ヤンセンファーマ株式会社（代理人：IQVIA サービスーズ ジャパン株式会社）	日本の高リスク転移性ホルモン療法感受性前立腺癌患者の臨床転帰を観察するレジストリ試験 The Registry to Observe Clinical Outcomes of Patients with High-risk Metastatic Hormone-naïve Prostate Cancer in Japan	関 雅也	20200901-20251231	¥2,684,000
受託研究	イービーエス株式会社	排尿筋低活動の非侵襲的診断基準に関する臨床研究	寺田 直樹	20230715-20251130	¥85,800
受託研究	特定非営利活動法人J-Cap研究会	前立腺がん患者の診断時背景因子と初期治療および治療経過に関する実態調査研究	多賀 峰克	20161201-20290331	¥576,500
受託研究	MSD株式会社	転移性腎細胞癌患者における治療パターン、治療アウトカム及び医療資源利用状況に関する観察研究：Patterns of treatment and Outcomes Evaluation in Metastatic Renal Cell Carcinoma Patients in Japan (POEM)	稲村 聡	20210614-20261231	¥599,500
受託研究	ヤンセンファーマ株式会社（代理人：IQVIA サービスーズ ジャパン株式会社）	日本の高リスク転移性ホルモン療法感受性前立腺癌患者の臨床転帰を観察するレジストリ試験 The Registry to Observe Clinical Outcomes of Patients with High-risk Metastatic Hormone-naïve Prostate Cancer in Japan	関 雅也	20200901-20251231	¥2,684,000
受託研究	イービーエス株式会社	排尿筋低活動の非侵襲的診断基準に関する臨床研究	寺田 直樹	20230715-20251130	¥85,800
受託研究	国立大学法人宮崎大学	High volume 転移を認める前立腺癌患者に対する局所放射線治療を併用する標準治療の確立と治療効果予測マーカーの開発	寺田 直樹	20240401-20250331	¥1,118,000
受託研究	国立大学法人宮崎大学	High volume 転移を認める前立腺癌患者に対する局所放射線治療を併用する標準治療の確立と治療効果予測マーカーの開発	寺田 直樹	20240401-20250331	¥1,118,000

(B) 奨学寄付金

受入件数	3
受入金額	¥2,200,000

5. その他の研究関連活動

(A) 学会開催等

区分	主催・共催の別	学会名	開催日	開催地
その他の研究集会	主催者	第65回福井泌尿器科フォーラム	20250123-20250123	福井市
その他の研究集会	主催者	第65回福井泌尿器科フォーラム	20250123-20250123	福井市
その他の研究集会	主催者	第64回福井泌尿器科フォーラム	20240627-20240627	福井市
その他の研究集会	主催者	第64回福井泌尿器科フォーラム	20240627-20240627	福井市
その他の研究集会	主催者	第63回福井泌尿器科フォーラム	20240118-20240118	福井市
その他の研究集会	主催者	第63回福井泌尿器科フォーラム	20240118-20240118	福井市
その他の研究集会	主催者	第62回福井泌尿器科フォーラム	20231116-20231116	福井市
その他の研究集会	主催者	第62回福井泌尿器科フォーラム	20231116-20231116	福井市

(B) 学会の実績

学会の名称	役職	氏名
日本排尿機能学会	委員	寺田 直樹
泌尿器内視鏡学会	代議員	寺田 直樹
日本性機能学会	代議員	寺田 直樹
泌尿器科分子・細胞研究会	代議員	寺田 直樹
小児泌尿器科学会	専門医	寺田 直樹
日本泌尿器科学会	学術委員会 委員	寺田 直樹
日本癌学会	委員	寺田 直樹
日本癌治療学会	代議員	寺田 直樹
日本泌尿器内視鏡学会	委員	寺田 直樹
日本泌尿器腫瘍学会	代議員	寺田 直樹
日本小児泌尿器学会	委員	寺田 直樹
米国泌尿器科学会	委員	寺田 直樹
日本内視鏡外科学会	委員	寺田 直樹
日本泌尿器病理研究会	委員	寺田 直樹
日本癌学会	委員	寺田 直樹
日本泌尿器科学会	理事	寺田 直樹
日本癌治療学会	代議員	寺田 直樹

小児泌尿器科学会	評議員	寺田 直樹
泌尿器内視鏡学会	代議員	寺田 直樹
泌尿器科分子・細胞研究会	代議員	寺田 直樹
日本泌尿器腫瘍学会	代議員	寺田 直樹
日本排尿機能学会	委員	寺田 直樹
日本性機能学会	代議員	寺田 直樹
日本泌尿器病理研究会	委員	寺田 直樹

(C) 座長

国内学会 (全国レベル)	学会名	氏名
招待・特別講演等	7月福井県泌尿器科医	寺田 直樹
招待・特別講演等	第36回北陸排尿障害講 演会	寺田 直樹
シンポジウム等	第31回日本排尿機能学 会	寺田 直樹
一般講演 (口演)	第31回日本排尿機能学 会	稲村 聡
一般講演	医療AIの基礎とその医 療応用：尿路上皮癌診 断の最前線	寺田 直樹
一般講演 (ポスター)	第62回日本癌治療学会 学術集会	寺田 直樹
シンポジウム等	日本泌尿器腫瘍学会第 10回学術集会	寺田 直樹
シンポジウム等	第74回日本泌尿器科学 会中部総会	寺田 直樹
シンポジウム等	第74回日本泌尿器科学 会中部総会	寺田 直樹
一般講演	ニューベクオ錠Hybrid Seminar～RWEから振り 返るnmCRPC治療～	寺田 直樹
招待・特別講演等	福井県泌尿器科医会講 演会	寺田 直樹
一般講演	Urological Cancer Seminar	寺田 直樹
シンポジウム等	第34回泌尿器科分子・ 細胞研究会	寺田 直樹
一般講演	福井県泌尿器科医会講 演会	寺田 直樹
一般講演	福井県泌尿器科医会4 月例会	寺田 直樹
シンポジウム等	第111回日本泌尿器科 学会総会	多賀 峰克
シンポジウム等	第111回日本泌尿器科 学会総会	寺田 直樹
一般講演	福井県泌尿器科医会4 月例会	寺田 直樹
シンポジウム等	第111回日本泌尿器科 学会総会	寺田 直樹
招待・特別講演等	7月福井県泌尿器科医	寺田 直樹
招待・特別講演等	第36回北陸排尿障害講 演会	寺田 直樹
シンポジウム等	第31回日本排尿機能学 会	寺田 直樹
一般講演	医療AIの基礎とその医 療応用：尿路上皮癌診 断の最前線	寺田 直樹
一般講演 (ポスター)	第62回日本癌治療学会 学術集会	寺田 直樹
シンポジウム等	日本泌尿器腫瘍学会第 10回学術集会	寺田 直樹
シンポジウム等	第74回日本泌尿器科学 会中部総会	寺田 直樹
シンポジウム等	第74回日本泌尿器科学 会中部総会	寺田 直樹
一般講演	ニューベクオ錠Hybrid Seminar～RWEから振り 返るnmCRPC治療～	寺田 直樹
招待・特別講演等	福井県泌尿器科医会講 演会	寺田 直樹
一般講演	Urological Cancer Seminar	寺田 直樹
シンポジウム等	第34回泌尿器科分子・ 細胞研究会	寺田 直樹
一般講演	福井県泌尿器科医会講 演会	寺田 直樹

(D) 学術雑誌等の編集

学術雑誌等の名称	査読・編集	委員長 (主査)・委員 の別	氏名	査読編数
----------	-------	-------------------	----	------

(E) その他

6. 産業・社会への貢献

(A) 国・地域等への貢献

(1) 審議会・委員会・公益法人・会社等への参加状況

区分	機関の名称等	委員会の名称等・役割	氏名	期間
----	--------	------------	----	----

(2) 社会人等への貢献及び学校等との連携・協力による活動

区分	活動名・活動内容	主催者・対象者等	氏名
----	----------	----------	----

(B) 国際貢献
国際協力事業

業績一覧

活動名・活動内容	氏名	相手方機関名	役割	期間	活動国名
----------	----	--------	----	----	------

(C) その他業績

(D) 特記事項